

令和7年度熊本県農業振興促進審議会 質疑概要

1 地域計画に関する質問

福原委員から、全国的に地域計画の精度向上が求められる中、今回除外された区域での地域計画の扱いについて質問があった。

事務局は、除外された農地の大半は荒廃農地で優良農地は除外しておらず、地域計画には含まれないと説明した。

2 土地利用と農業振興に関する意見

末松委員及び藤本会長から、農業振興と人口減少対策を両立するため、開発可能性がある地域と農業を振興していく地域でのメリハリある土地利用の必要性が述べられ、県はその点に配慮して市町村の相談にのってほしいとの意見があった。

3 基本方針の都道府県面積目標の確認

藤本会長から、都道府県面積目標の数値について、令和12年度の89,803haから令和17年度には85,726haへ変更（約4,000ha減少）となるかについて確認があった。

事務局は、現時点案ではそのとおりであると説明した。

4 編入事例に関する質問

波積委員から、編入事例は稀な例なのかについて質問があった。

事務局は、編入は年2回の個別見直し時に一般的に行われており、編入自体は全体見直し時以外にもあり、稀な例ではないと説明した。